

示差熱天秤分析 (TG-DTA)

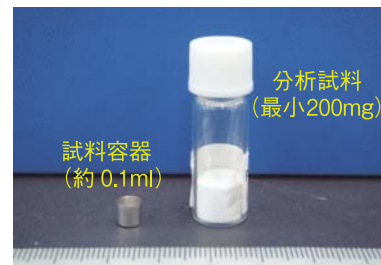
示差熱天秤分析とは、試料を加熱した際に起こる質量変化 (TG) と熱的挙動 (DTA: 発熱や吸熱) を連続的に測定する方法であり、これらを基に、試料に含まれる物質の種類と量を求めることができます。セメント水和の進行度、炭酸化、火災による被熱の程度、などの評価に活用されています。

機器分析

分析装置

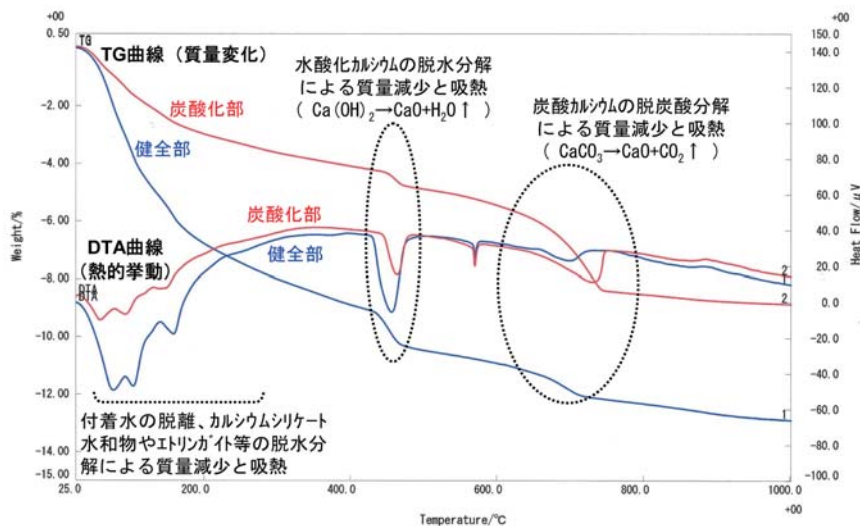


●装置の外観



●試料容器と分析試料

分析結果の一例



コンクリートの健全な部分と炭酸化の進んだ部分を比較した例を紹介します。炭酸化部 (赤線) では健全部 (青線) と比べて、エトリンガイトやカルシウムシリケート水和物、水酸化カルシウムなどの水和物が分解により減少し、逆に炭酸カルシウムは増加していることが明らかです。

示差熱天秤分析 (TG-DTA)

お問い合わせ先


Taiheiyo Consultant
 株式会社 太平洋コンサルタント

〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-27-8
 アサノ東日本橋ビル1階
 TEL 03(5820)5604 / FAX 03(5820)5608
<http://www.taiheiyo-c.co.jp>